

デンマークにおける複合図書館の理念と実態：  
オーフス市を事例として

The Philosophy and Actual Situations of Integrated Libraries in  
Denmark: A Case Study in Aarhus Municipality

学籍番号：201821624

氏名：中井 ともこ

Nakai Tomoko

デンマークの図書館システムは網羅的なネットワーク・法律・専門職制度により世界の図書館を牽引している。そのデンマークで近年、国民学校内に設置され学校図書館と公共図書館が空間を共有した「複合図書館」が増加している。

本研究の目的は、デンマークにおける複合図書館の理念と実態を解明することである。以上の目的を達成するため、デンマークにおける複合図書館の先進事例であるオーフス市に着目し、5つの研究課題を設定した。すなわち、デンマークにおける複合図書館の設立背景と展開過程の解明、オーフス市における複合図書館政策の解明、オーフス市における学校図書館支援センターの実態の解明、複合図書館の施設実態の解明、職員から見た複合図書館の特徴及び課題の解明である。以上の研究課題を踏まえ、本研究では現地における施設の観察及び職員に対するインタビュー調査を実施した。

調査の結果、複合図書館の理念として、地域住民全てに対する図書館サービスの保障、学校図書館としての専門性の保持、学校と公共図書館の連携の強化の3点が導出された。また、複合図書館の実態として、デンマークにおける図書館ネットワークを確保することに寄与している点、学校図書館としての空間的特徴を有している点、職員同士が協力関係の強化に努めている点を挙げた。職員の労働環境や、学校と公共図書館における専門性の違いなど複合図書館が抱える課題の存在も明らかになった。

本研究は特定地域の複合図書館における職員を対象とした調査にとどまっている。今後は本研究で対象としなかった利用者の複合図書館に対する認識に着目するとともに、研究対象地域をデンマークの複数地域に広げ、複合図書館の全体像を捉える必要がある。

研究指導教員：吉田 右子

副研究指導教員：鈴木 佳苗